

江東区こども・子育て支援事業計画の策定に伴う区民意向調査項目概要（案）

1 就学前児童保護者対象調査

- 〔前回調査からの変更概要〕
- ・待機児童ゼロ達成による設問を加除修正（質に関する項目追加等）
 - ・保護者が幼少期から学ばせたいと考える事項についての設問を追加
 - ・条例制定に向け「こどもの権利」に関しての認識を問う設問を追加
 - ・その他、設問及び選択肢を時勢に合わせて修正

※下線部が前回からの変更点（以下、同じ）

主な設問項目		分析の視点
対象者の属性	配偶者（ <u>パートナー含む</u> ）の有無、 こどもの年齢・人数、世帯、地区、 世帯年収など	基本情報
就労状況	母親・父親の就労状況（ <u>勤務形態含む</u> ）	家庭類型の判定に活用
身近な子育て支援環境	こどもを預かってもらえる友人・ 知人の有無、状況 相談できる人・相談場所の有無	子育て環境の状況を把握し、 相談できる人の有無別等の 分析で活用
教育・保育施設	利用している施設、利用状況、 <u>施設 に入れないことによる転居検討有 無</u>	利用状況・意向を把握し、今 後の需要予測に活用
	利用していない理由、代わりに利 用しているサービス、 <u>休日保育の 拡充要望</u>	
	利用中の施設の満足度、 <u>自宅から の距離及び時間、保育所のサー ビス向上要望、不適切保育を防止す るため重要と考える点</u> 施設を選ぶ際に重視する点	施設の料金・距離・方針など の満足度・重要度を把握
子育て支援事業、 相談支援事業	各事業の利用状況 各事業の満足度	子育て支援事業や相談支援 事業の利用状況、満足度を把握 し、事業の検証に活用
仕事と子育ての両 立	育休の取得状況、復帰状況 両立する上で大変なこと、必要な こと	仕事と子育てを両立すること への考えや、勤務先へのニ ーズについて把握
その他	<u>就学前から学ばせたいと思う事項</u> <u>「こどもの権利」についての認識</u>	今後の生活に必要な知識の 早期習得要望と条例制定に 向け権利についての認識を 把握

2 小学生児童保護者対象調査

〔前回調査からの変更概要〕

- ・保護者が小学生のうちから学ばせたいと考える事項についての設問を追加
- ・条例制定に向け「こどもの権利」に関する認識を問う設問を追加
- ・その他、設問及び選択肢を時勢に合わせて修正

主な設問項目		分析の視点
対象者の属性	配偶者（パートナー含む）の有無、 こどもの年齢・人数、世帯、地区、 世帯年収など	基本情報
就労状況	母親・父親の就労状況（勤務形態含む）	家庭類型の判定に活用
身近な子育て支援環境	こどもを預かってもらえる友人・ 知人の有無、状況 相談できる人・相談場所の有無	子育て環境の状況を把握し、 相談できる人の有無別等の 分析で活用
家庭での生活	起床・就寝時間 家族と食事する機会の有無 家事の手伝い状況	基本的な生活態度や家族と 接する時間の実態について 把握
放課後の過ごし方	放課後の過ごし方、状況 一緒に遊ぶ友人の数 希望する放課後の過ごし方 利用事業の満足度	放課後の居場所の充実に向 けて、利用状況・意向を把握
仕事と子育ての両立	仕事と子育てを両立する上で大変 なこと、必要なこと	仕事と子育てを両立するこ とへの考えや、勤務先へのニ ーズについて把握
その他	小学生のうち学ばせたいと思 う事項 「こどもの権利」に関する認識	今後の生活に必要な知識の 早期習得要望と条例制定に 向け権利に関する認識を 把握

3 小学生（高学年）本人対象調査【新】

〔設問概要〕

- ・中学生及び高校生世代本人対象調査をベースに小学生向けに調整
- ・生活に関する関心の高い事項について問う設問を設定
- ・条例制定に向け「こどもの権利」に関する認識を問う設問を設定

主な設問項目		分析の視点
対象者の属性	年齢、学年、家族構成、地区	基本情報
放課後の過ごし方	放課後、休日によく過ごす場所 安心できる場所	放課後や休日の過ごし方、過 ごす場所に関する実態を 把握

主な設問項目		分析の視点
いじめや不登校の状況	いじめの経験（する側、される側）の有無	いじめの経験やひきこもりになりそうになった経験有無を把握
	学校に行きたくないと思った経験有無	
	悩んだ時の相談先・相手	
自分自身について	自己肯定感	自分に対する自信や将来への希望についての実態を把握
	夢や希望の有無	
利用しているメディアについて	よく利用するメディア、その目的	よく利用する媒体とその目的・かける時間を把握
	上記メディアの利用時間	
その他	生活に関する関心の高い事項	今後の生活に必要な知識の関心と条例制定に向け権利についての認識を把握
	「こどもの権利」についての認識	

4 中学生・高校生世代本人対象調査

〔前回調査からの変更概要〕

- ・生活に関する関心の高い事項について問う設問を追加
- ・条例制定に向け「こどもの権利」に関しての認識を問う設問を追加
- ・その他、設問及び選択肢を時勢に合わせて修正

主な設問項目		分析の視点
対象者の属性	性別 、年齢、学年、家族構成、地区	基本情報
放課後の過ごし方	部活動参加有無	放課後や休日の過ごし方、過ごす場所についての実態を把握
	放課後、休日によく過ごす場所	
	安心できる場所	
いじめや不登校の状況	いじめの経験（する側、される側）の有無	いじめの経験やひきこもりになりそうになった経験有無を把握
	学校に行きたくないと思った経験有無	
	悩んだ時の相談先・相手	
自分自身について	自己肯定感	自分に対する自信や将来への希望についての実態を把握
	夢や希望の有無	
利用しているメディアについて	よく利用するメディア、その目的	よく利用する媒体とその目的・かける時間を把握
	上記メディアの利用時間	
その他	<u>生活に関する関心の高い事項</u>	今後の生活に必要な知識の関心と条例制定に向け権利についての認識を把握
	<u>「こどもの権利」についての認識</u>	